

# 安全・防災対応の重要性について(産廃処理業)

各業界における事故の上位5種要因(2015年～2022年迄の累計)

産廃処理業	製造業	建設業	陸上貨物運送業
労働者数12万人	// 1028万人	// 409万人	// 193万人
<b>墜落・転落</b>	<b>挟まれ・巻き込まれ</b>	<b>墜落・転落</b>	<b>墜落・転落</b>
<b>挟まれ・巻き込まれ</b>	<b>転倒</b>	<b>挟まれ・巻き込まれ</b>	動作の反動・無理な動作
<b>転倒</b>	<b>墜落・転落</b>	<b>転倒</b>	<b>転倒</b>
動作の反動・無理な動作	動作の反動・無理な動作	飛来・落下	<b>挟まれ・巻き込まれ</b>
飛来・落下	切れ・こすれ	切れ・こすれ	激突

\*黄色塗りつぶしは三大災害と2007年に指摘された事故要因

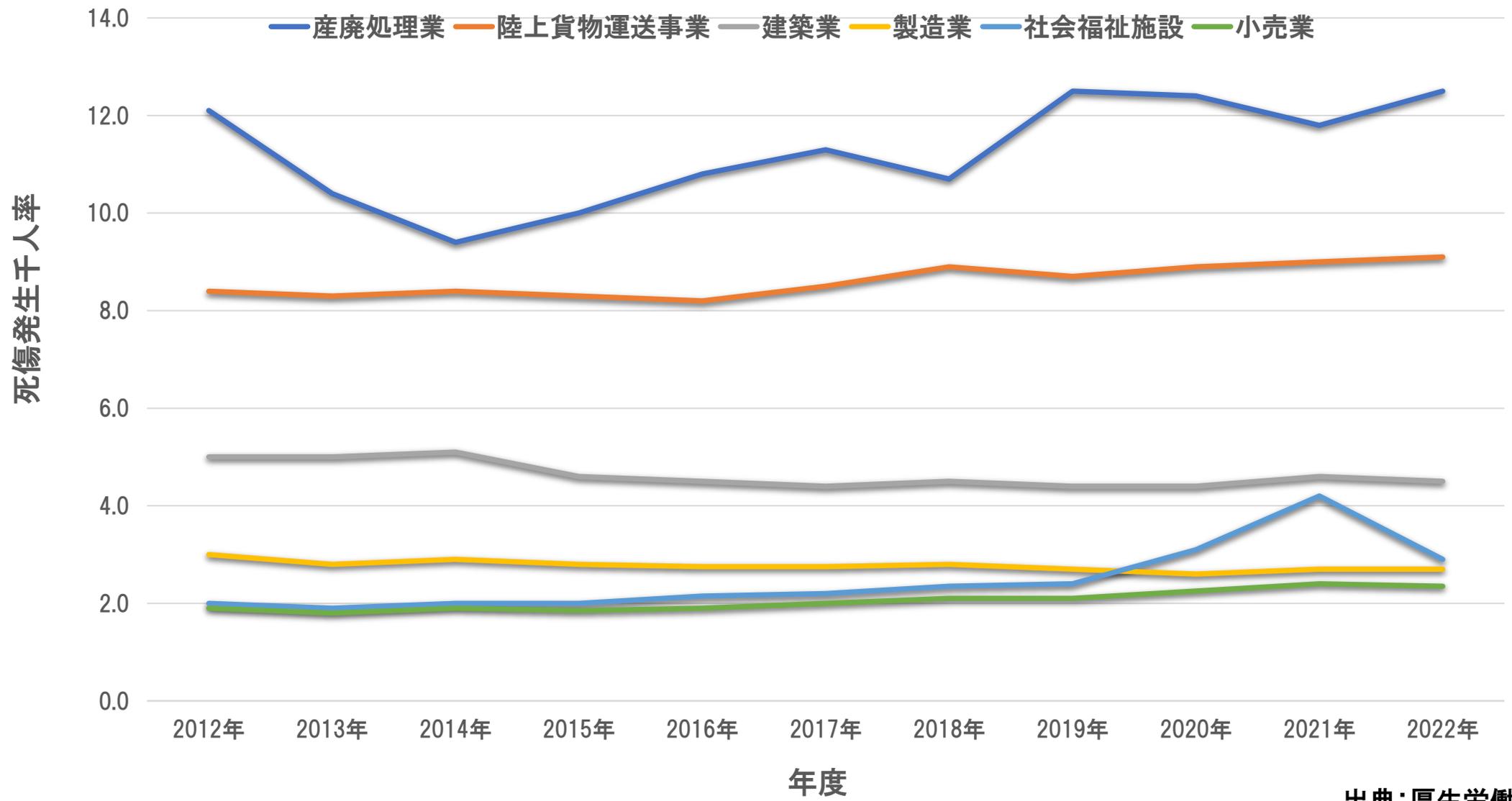
出典;厚生労働省

## \*産廃処理業

- ・収集や保管、工場での搬入・搬出・最終処分⇒建設業と同様の重機作業が多い
- ・収集運搬車への積み込み、運搬、排出は陸上貨物運搬業と同様の作業
- ・工場における中間処理は製造業と同様の作業

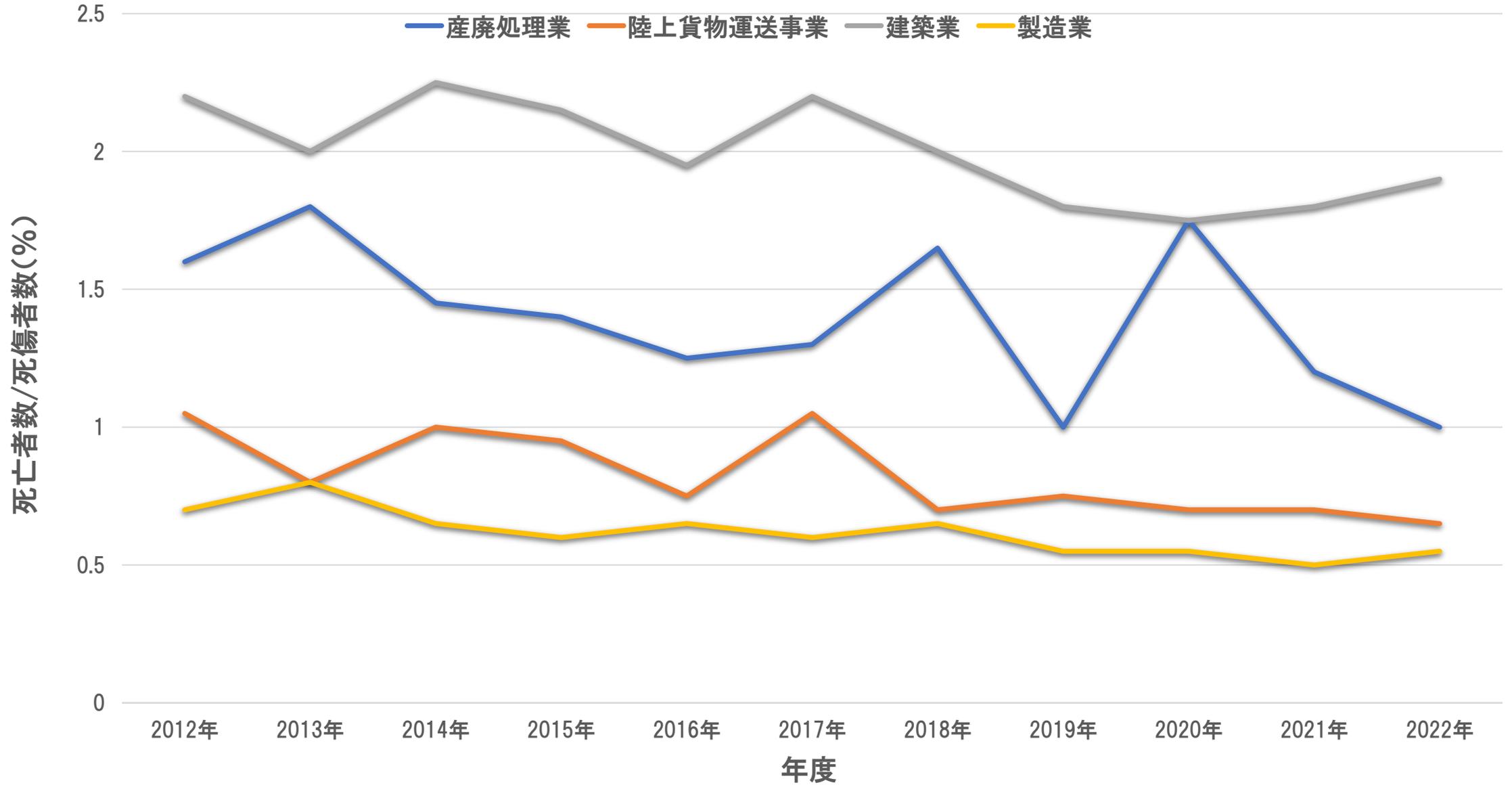
# 業種別死傷災害発生千人率推移(千人当たりでの死傷災害発生件数)

年千人率 = 年死傷者数 / 年平均労働者数 × 1,000



出典:厚生労働省

# 死傷災害に占める死亡災害比率の推移



出典:厚生労働省

## 産廃処理業における安全・防災対応の必要性について

業種	労働者数	死傷災害千人発生率 (2022年) 千人当たりでの発生件数	死傷者数 (2022年)	死亡者数/死傷者数(%) (2022年)	死亡者数 (2022年)	死亡者数/ 労働者数 (2022年)
産廃処理業	12万人	<b>12.5</b>	1,524人	1.0%	15人	<b>0.013%</b>
陸上貨物運送業	193万人	<b>9.1</b>	14,807人	0.65%	96人	<b>0.005%</b>
建設業	409万人	<b>4.5</b>	14,539人	1.9%	276人	<b>0.007%</b>
製造業	1028万人	<b>2.7</b>	26,694人	0.55%	147人	<b>0.001%</b>

産廃処理業における死傷災害千人発生率及び死亡率(死亡者数/労働者数)共に他業種と比較し、極めて高い発生率となっており、安全・防災対策は大きな課題となっている